

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

### これからの鹿屋の農業を語る



10月22日、リナシティかのやで「鹿屋の農を語る交流会」が開催されました。

これは、農家の経営改善や担い手の育成・確保を図るために行われたもの。交流会では、新規就農者や新規認定農業者一人ひとりに記念品が手渡されたほか、農業経営に関する事例報告や基調講演なども行われ、就農者たちは真剣に耳を傾けていました。

### 鹿屋 KANOYA 国体レスリングで好成績



10月に行われた国体のレスリング個人で入賞した鹿屋中央高校レスリング部の選手たちが、同月19日、市役所を表敬訪問しました。深迫大樹さん（74キロ級）が準優勝、大久保広斗さん（50キロ級）が3位、高間史郎さん（120キロ級）が5位、同校OBの瀬川優人さん（青年120キロ級）が5位に見事入賞を果たしました。

### 鹿屋 KANOYA 今後の活躍を誓う



9月25日からイタリアで開催された「2010男子バレーボール世界選手権」に日本代表として出場した西尾太作選手が、10月6日、市役所を表敬訪問しました。

西尾選手は、東原町出身で現在プロリーグの堺ブレイザーズに所属。中野実副市長に「今後も世界選手権やロンドン五輪に向けて鹿屋代表として頑張ります」と抱負を話してくれました。

### B S日本のうた、公開録画 歌手12人の熱唱に歓喜



10月14日、市文化会館で鹿屋市市制施行5周年記念事業の一環としてB S日本のうたの公開録画が行われました。

エンディングでは、鹿児島おはら節にあわせ鹿屋バレエのメンバーと鹿屋女子高校生が出演しました。小金沢昇司、キム・ヨンジャをスペシャルゲストに中条きよし、辺見マリ、永井みゆき、森口博子など歌手12人が集まるとあって、会場は熱気に包まれプロの歌声に約1,000人が魅了されました。

録画の様子は、11月7日の市制施行5周年記念式典にあわせ放送されました。

### 鹿屋 KANOYA 104品種の唐芋無料配布



10月20日、フェスティバル本社に隣接する農場で104種類約1.5tのサツマイモの無料配布が行われました。

唐芋ワールドセンターが明治時代に栽培されていた希少種を含む品種の保存に取り組んでおり、今年は134品種の栽培に成功。めずらしい品種を求めて朝から詰めかけた100人余りが、目当ての品種を袋に詰め込んでいました。

### 各地域でボランティア清掃



10月16日、高須海岸で「錦江湾クリーンアップ作戦・秋の部」が行われました。

当日は、周辺町内会や地元小中学校、各種団体などから約200人が参加して、海岸に漂着している空き缶やペットボトルなどを拾い集めるとともに、分類調査も行いました。



10月13日、大学記念公園で、県電設協会に加盟する鹿屋・肝属地区7社が清掃作業を行いました。

地域住民が安全に使用できる公園にしようと、23人が参加。高所作業車や草刈り機などを使って、公園内のヤシ類などの樹木の剪定や除草作業などを行いました。



10月5日、市営桜ヶ丘住宅及び曙住宅で、建築協会青年部がボランティア清掃を行いました。

当日は、25人が参加して、草刈り機などを使って、普段の作業では行き届かない所の剪定や雑草のやぶ払い、除草作業などを行い、見違えるように明るくなりました。



9月22日、宅建協会大隅支部が和田井堰公園周辺の清掃作業や肝属川沿いのごみ拾いをボランティアで行いました。これは、9月23日の不動産の日の前後に毎年行っているもので、当日は、会員15人が参加し、ポイ捨てごみが軽トラックの荷台いっぱい集められました。

### 甘くてほろ苦い紅茶販売 ~青春100%紅茶版~



10月19日、鹿屋農業高校生が有機栽培した茶葉を使った紅茶と緑茶のペットボトル「青春100%（500ml）」の販売が県内の南九州ファミリーマートなどで始まりました。

昨年、販売した緑茶は1か月に48,000本が完売するほどの人気で、今年は緑茶に加え、紅茶も商品化。甘くてほろ苦い味に仕上がっています。

### 旧海軍航空隊串良基地 出撃戦没者追悼式



10月15日、串良平和公園慰霊塔前広場で「旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式」が開催され、全国各地から遺族や生存者など約250人が参列しました。

式典では、国歌斉唱や追悼飛行のあと特別攻撃作戦などで戦死した570人の御霊に黙祷を捧げたほか、参列者の献花に続いて「同期の桜」を合唱し、参列者全員で戦没者の冥福を祈りました。

### 輝北町戦没者追悼式



10月1日、輝北コミュニティセンターで、「平成22年度鹿屋市輝北町戦没者追悼式」が開催され、遺族や関係者など約80人が参列しました。

先の大戦で祖国のために尊い命を捧げた人々の御霊に対し黙祷を捧げ、嶋田芳博市長の式辞に続き、前田利雄遺族会長などが追悼のことばを述べたあと、献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。